

奈良県の環境の現況について (令和6年度、公害苦情)

- 令和6年度に県及び市町村で新規受理した公害に関する苦情件数は、695件で前年度より246件減少している。
- 新規直接受理した苦情の内容をみると、典型7公害に係る苦情は336件（48.3%）で前年度より92件減少しており、典型7公害以外の苦情は359件（51.7%）と154件減少している。
- 典型7公害のうち苦情件数が多いのは、騒音100件（14.4%）、水質汚濁94件（13.5%）、悪臭77件（11.1%）、大気汚染56件（8.1%）であり、上位4公害で典型7公害の97.3%を占めた。
- 典型7公害以外の主なものは、不法投棄131件などがある。

種類別苦情件数(新規直接受理)

典型7公害								典型7公害以外	合計
大気汚染	水質汚濬	土壤汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	小計		
56	94	1	100	8	0	77	336	359	695
8.1%	13.5%	0.1%	14.4%	1.2%	0.0%	11.1%	48.3%	51.7%	100%
-49	-36	0	-13	2	0	4	-92	-154	-246

下から二段目は全件数に対する割合、最下段は前年度からの増減

上位4公害の発生源別苦情件数

水質汚濁	流出・漏洩	産業排水	自然系	移動発生源 (自動車運行)	左記以外	合計
	41	11	10	8		
大気汚染	焼却 (野焼き)	工事・建設作業	焼却 (施設)	産業用機械作動	左記以外	合計
	60	9	7	1		
騒音	工事・建設作業	産業用機械作動	飲食店営業	家庭生活 (機器)	左記以外	合計
	52	12	9	9		
悪臭	家庭生活 (その他)	流出・漏洩	焼却 (野焼き)	飲食店営業	左記以外	合計
	27	10	4	4		

